

《たくさんの方にお参りいただいたお盆法要》



〔8月13日撮影〕



〔7月9日撮影〕

しんらん同人

No.540
9・10
月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

われもひかりのうちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

初代住職 岡本泰雄師の法話原稿を書きながら五十数年前の出来事を思い出しています。

私の祖母は、信仰の篤い人で誓願寺の岡本泰雄住職に私淑し、そのご縁で末娘（現坊守）が、遠く離れた九州の地に嫁いで参った次第です。

その一方で、私の母には大変厳しく指導をしていました。

ある日、高校生の私が帰宅いたしましたところ、母が祖母の部屋で指導（私の目から見ると日頃の説教にしか見えません）していました。私が「おばあちゃんは世間の人から、お寺によくお参りする立派な人だと言われているが、なんでいつもお母さんに説教をするのか。何のためにお寺にお参

りしているのかわからん。」と言い捨てて自分の部屋に戻りました。

しばらくして祖母がやってきて、私の背中越しに、「こんな私だからお参りするんだよ。」と涙声で言つて戻つてきました。

その時はよくわかりませんでしたが、今では貴重な体験をさせていただいたと思う次第です。

お寺に参ったから。よく聴聞しているから良い人になるのではなく。良い人間になろうと思つてもそうなれない自分を知れば知るほど、阿弥陀如来のご本願にお任せせずにはおれないのです。祖母が百歳で亡くなつて三十数年。誓願寺の一員として暮らしているのも不思議なご縁と思う次第です。

合掌

お念佛申すようになれば、どうなりますか



「お念佛申すようになれば、どうなりますか。」私はこの質問が一番苦手である。欲も起こさなくなる、腹も立たなくなるし、愚痴もこぼさなくなるとは言われない。お金も儲かります、病気も治りますとも答えられない。

私も、おかげさまで念佛申す身にさせていただいた。されど、欲も起こりどうしだし、腹も立てるし、愚痴もこぼす。病気にもなれば、お金も儲からない。

「お念佛申す身になれば、何とかなるはずだ。」と、誰しも一応考へることである。

念佛を聞いている人の中にも、何とかなる何とかなると考へながら、聞いている人もいるだろう。

ところがいくら聞いてみても何ともならない。しまいには、何ともならないのなら聞いても無駄だと考へる人もいるかも知れない。

念佛申す身になれば、生活が変わつてくる。何か良いことが起こつくると考へてゐるわけである。

生活が変わるとか変わらないとかを言う前に、お念佛申す身になるということは、どういうことであろうか。

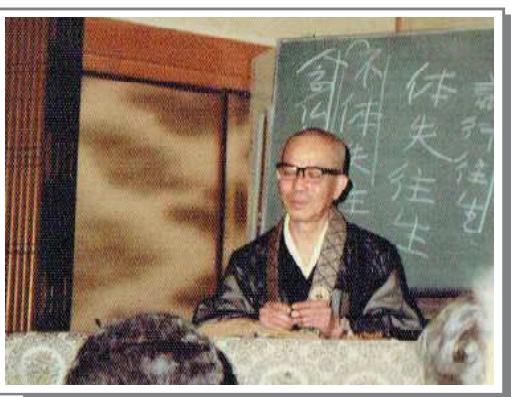
はたして自分自身がお念佛申す身になつてゐるであろうか。もう少し突っ込んでいようと、生活が変わる、もちろん良い生活に代わるということが目的になつていて、お念佛を申す身になるということを問題にしていないのではないだろうか。

生活がよくなるだけなら、何も念佛にたよらなくてもよい。

「念佛申す身になれば・・・」と、念佛申す身になつた後の利益を求めるのではない。念佛申す身になるということだが、最大の幸福なのである。

それは何故であろうか。

念佛申す身になるということは、迷いの目を覚まされ、攝取の光明に包まれている自分と自覚させられ、やがて安養の淨土に生まれる身となるからである。



「岡本泰雄法話風景」

つまり、現在の自己の真相を知らしめられ、永遠に生きる身と定められるのである。

小さな自己を脱却して、絶大の世界に生きる身となるのである。

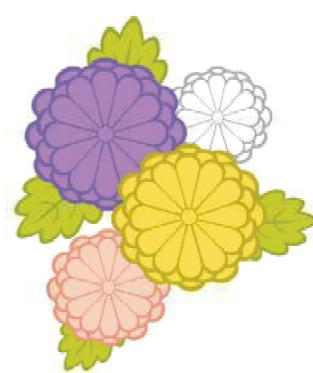
そして、もし念佛にあいえなかつたら、更に深い迷いを続けなければならなかつたであろうに。

すでに、お先真つ暗の歩みではない。光に包まれ永遠の世界へ前進である。

悲しみも苦しみもみんな、如来のお慈悲を味わう素材となる。悲しい時は泣くがよい。苦しい時は叫べばよい。うれしい時は笑うがよい。そのまんまがお慈悲の光の中なのである。

念佛申す身になることは、心の大転換である。生まれ変わるといつてもよいだろう。

確かにそうだ。こちらから進んでいたという心が破られて、向こうから来る真の光をいただく身になるのである。



如来のお慈悲を信じたうえからは、尊く有難く思つて称える念佛も、またふと何気なく称えた念佛も、仏恩報謝の念佛である。他の宗派では、親のためといつて念佛するのであるが、親鸞聖人の御一流では、弥陀を信ずるのが念佛であつて、念佛を称えることはすべて仏恩報謝である。

(聞書)

「法味抄」より

「法味抄」は、故岡本泰雄が「聖語を読みたいと思つても、漢文や古文で書かれているのでなかなか理解しにくい。わかりやすい仏教書がほしい。」という方々の願いに応じて、真宗聖教中から要文を抜き出し、意訳した冊子です。

その中から少しづつながら紹介をしていきます。

聖語末の（）内の文字は聖教の書名を略記したものです。

他力というのは、ああでもあろうか、こうでもあろうかと、計らうことのないことをいう。

(末灯)

仏のみ名を称えるのは私である。淨土へ生まれさせて下さるのは仏である。それでは、淨土に生まれるには如何にすればよいかなどと思うのは自力である。

(本願成就聞書)

【ご法座等のご案内】

編
集
後
記

**9・10
(日)**

■午前十時

誓願寺婦人会 物故者合同法要

【宮崎幸枝師*】

*茨城県みやざきホスピタル副医長院長

**10・8
(日)**

■午前十時

定例法座 【上野隆平師】

■正午

医療相談 【佐藤公彦医師】

医療相談 【佐藤公彦医師】

**9・17
(日)**

■午前十時

なかよしクラブ

(乳幼児から小学生まで)

**10・15
(日)**

■午前十時

医療相談 【佐藤公彦医師】

なかよしクラブ

(乳幼児から小学生まで)

**9・24
(日)**

■午前十時

彼岸会法要・祥月命日合同法要

【高田慈昭師】

**10・22
(日)**

■午後一時

定例法座・祥月命日合同法要

【高田慈昭師】



[孫達に囲まれて]

- 猛暑の予報があつたこの夏も、記録的な雨天だけが印象に残り、秋の訪れです。皆様体調管理に充分ご注意下さい。

- 八月には、福岡在住の孫達（6歳・3歳）が三週間上京、練馬区の孫（2歳）共々連日賑やかな生活を無事過ごすことが出来ました。
- 来寺早々のかくれんぼは、お寺の各部屋内に恐る恐る潜むものでしたが、次第に行動範囲が広がり、各部屋を移動しながらのかくれんぼになっていました。バタバタ・トコトコ、孫たちの足音が懐かしく思われます。
- 今は静かなお寺です。
- 九月十三日に築地本願寺で開催の「節談説教布教大会」に、お同行とお聴聞いたします。
- この秋も、お彼岸はじめ様々な法要・法座を行います。是非ご参加下さい。